



本村幼稚園 2月の園だより

平成30年1月31日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

生活発表会がやって来る

園長 山村 登洋

インフルエンザが世界的に流行し、日本でも大流行の気配です。手洗い、うがい、そして体力アップを大切にして、予防を心がけてまいります。ご家庭でもご協力お願いいたします。

1月の25日に港区連合人形劇が開催されました。保護者の皆様には、当日の子供たちの送り迎え、誠にありがとうございました。寒い1日でしたが、安全に観劇を楽しむことができました。今年は「三びきのやぎのがらがらどん」というお話で、



3匹の山羊が主役です。山羊たちがいろいろなことに挑戦したり、失敗したりしていく中で、3匹の山羊たちの絆が深まります。そして、最後には鬼のようなトロルに打ち勝ちます。子供たちは、その鬼と3匹の山羊との戦いに大熱狂でした。「頑張れー」「負けるなー」「やったー」という声を至るところで聴くことができました。子供の感性は本当に素晴らしいですね。大人になってしまうとこんなこともなくなってしまうのですが、この純粋な心がこれからの育ちに大切なんですね。

また、今月の3日は、いよいよ生活発表会が行われます。この10ヶ月遊びを通して学んできましたが、その遊びの中で培ったものをこの生活発表会で少しでもご覧いただければと思います。年長のはと組は『アラジンとまほうのランプ』です。子供たち一人一人が自分の役になって、その場面の言葉を何度も何度も変えながら、劇遊びを繰り返してきました。一度も同じ言葉はないくらいです。当日もどんな言葉が飛び出してくるか楽しみです。年少のりす組は『ねこのおいしゃさん』です。はじめての生活発表会に向けて、はと組のお兄さん、お姉さんに負けないくらい、劇遊びに没頭していました。

私も幼稚園長となって気が付いたことですが、小学校の学芸会は台本があって、まずはその台詞を覚えていき、あとは自分らしい表現をしていきます。幼稚園の劇遊びは、大きな流れの台本はありますが、台詞は子供たちが作っていきます。先生が場面提示したあとで、子供たちが考えたり、相談したりして台詞を決めていきます。感覚、イメージがとても重要なんです。ある意味、幼稚園児たちは、すごいことをしているんだなとつくづく感じたところです。そんな生活発表会、大勢の皆様にご覧いただきたいと思います。



そんな生活発表会、大勢の皆様にご覧いただきたいと思います。



<はと組の合奏>



<話の世界を楽しむりす組>